

令和3年度事業報告書

熊本県は、高齢化率が31.6%（熊本県推計人口調査「人口推計（令和2年10月1日現在）」）と全国より早く高齢化が進行している。このような中、県では、平成28年4月に発生した熊本地震を受けて同年12月に「熊本復旧・復興4カ年戦略」を策定し、「災害に強く誇れる^{たから}資産を次代につなぎ夢にあふれる新たな熊本の創造」の実現に向け、積極的に施策を展開してきた。そして令和3年3月、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大という新たな危機に直面し、感染症による危機を乗り越えるとともに、平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨という2つの災害からの創造的復興を熊本の発展につなげ、地方創生を実現するための「新しいくまもと創造に向けた基本方針」を策定した。

基本方針の中では、高齢者に係る取組みとして、安全安心な社会の実現に向け、子供や高齢者、障がい者等が自分らしく安心して住み慣れた地域で暮らせる社会の実現を目指し、健康寿命の延伸に向けた取組みや医療提供体制の確保、就労支援を行うとともに、地域での見守りや交通事故の抑止、地域の交通手段の確保等に取り組み、安全・安心な地域づくりを推進するとされている。

また、令和3年3月に策定された第8期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画（長寿・安心・くまもとプラン）においても、「高齢者が健やかに暮らし、いきいきと活躍できる“長寿で輝く”くまもと」づくりを目指し、すべての高齢者が、暮らしたいと思う地域・場所で、快適かつ安心・安全に、生きがいと社会参加の機会を持ちながら、自立して長寿を全うすることのできる熊本を目指すこととされている。

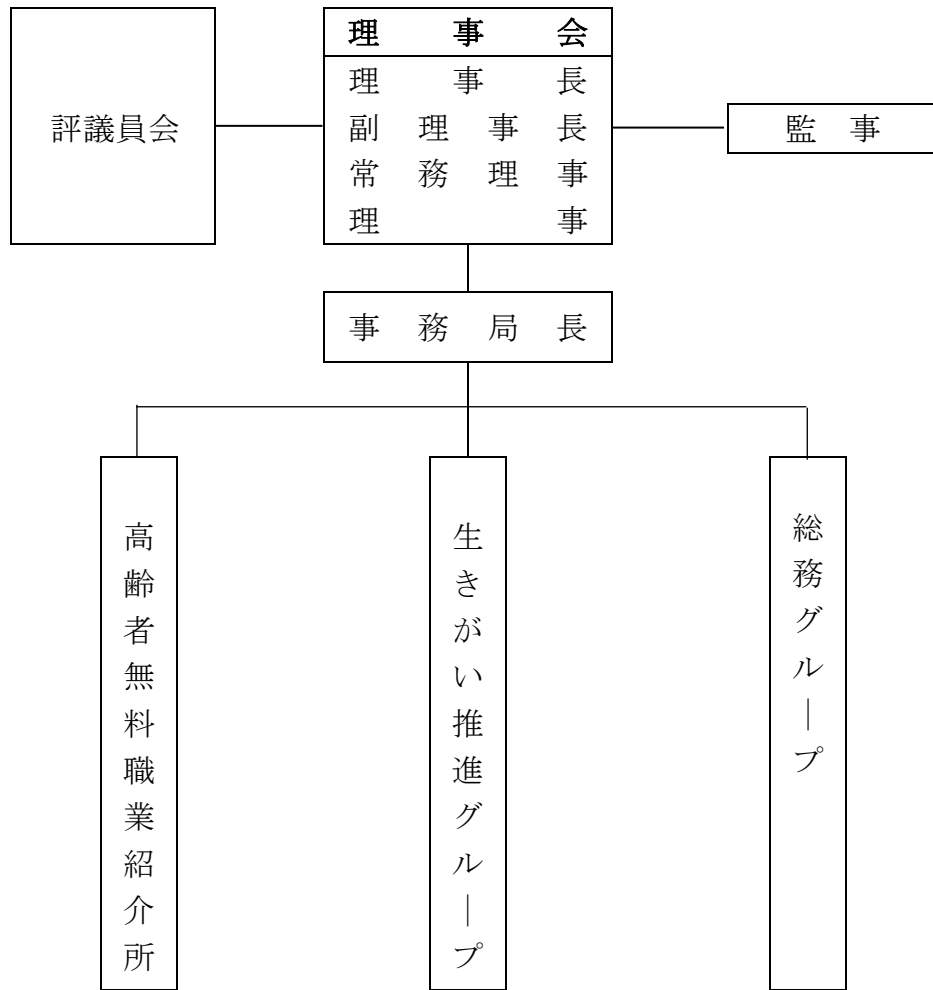
当財団に対しては、こうした状況を踏まえ、「“長寿で輝く”くまもと」を目指し、「活力ある長寿社会づくり」の一翼を担うことが期待されており、国や県と協調した施策展開、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ、各種団体等と連携した事業等の実施に努めるとともに、簡素で効率的な運営に留意しながら、引き続き下記事業に取り組んだ。

しかし、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、シルバースポーツ交流大会をはじめ多くの事業が中止を余儀なくされるに至った。

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

2 高齢者への就労支援事業

組 織 図 (令和3年度)



事業実施状況

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

(1) 広報事業

高齢者の生きがいと健康づくりに関する様々な情報を提供した。

① 情報誌「さわやか」の発行（年2回）

生きがいと健康づくり、保健・福祉等に関する情報誌を発行し、市町村、市町村社協、老人クラブ、企業、病院、公民館等に10,500部配布した。

なお、令和3年度夏号から、見やすく読み応えのある誌面に刷新した。

- ・第94号(夏号) 特集：輝いて生きる
- ・第95号(春号) 特集：輝いて生きる

② 財団事業紹介等のホームページの運営

高齢者への生きがいと健康づくりに関する情報の提供や、高齢者からの財団事業への申込や意見、相談等、双方向での情報発信が行えるように、高齢者がアクセスしやすいホームページを運営した。

なお、令和3年度は、内容を一新し、より見やすい構成に変更するとともに、SNSに対応できるようにした。

③ さわやかパートナーシップ講演会の開催

さわやか大学校卒業生等を対象として、さわやか大学校各校卒業生会とのパートナーシップのもと、生きがいや健康づくりのための講演会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止した。

(2) 人材育成事業

高齢者が地域の活力維持、担い手として、その役割を果たせるよう、学習、活動の機会の提供を図るとともに、高齢者の持つ豊かな知識と社会経験を活用し、その活動の支援を図った。

① 学習機会の提供

ア 熊本さわやか大学校の開校

教養講座や体験講座等、高齢者の「生きがい再発見」、「仲間づくり」、「社会参加」を図るとともに、高齢社会のリーダーを育成するため熊本さわやか大学校を開校した。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開講時期を8月へ延期するとともに、感染防止のため講座回数及び受講定員を減らし、感染防止対策を講じて実施した。

	定員	入学者	修了者
熊本校 (29期)	60名	44名	40名
八代校 (21期)	40名	18名	14名
計	100名	62名	54名

年間30講座

- ・健康、生きがいつくり
- ・社会参加
- ・日常の暮らし
- ・福祉
- ・趣味教養
- ・判別自主研究活動 等

イ 出前講座の開催

遠隔地の高齢者を対象に、熊本さわやか大学校の講師を派遣し、開催した。
なお、天草地域は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。

- ・人吉・球磨地域 令和4年3月21日(月) 参加者42名

② 高齢者の人材活用、活動支援

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援した。

ア 「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

長年にわたって培ってきた知識や技能を有する高齢者を「熊本さわやか知恵袋」として登録し、地域や団体からの依頼に基づき、登録者を派遣し、高齢者の生きがいつくりと世代間の交流を図った。

○ 人材の発掘及び登録

情報誌「さわやか」や当財団ホームページで登録者を募集し、さわやか知恵袋登録者名簿に登録した。

- ・知恵袋登録者・・・スポーツやアトラクションなど5分野

個人：57名、団体：10グループ (令和4年3月31日現在)

(参考)

知恵袋登録者の活動状況 (令和2年4月～令和3年3月)

- ・活動回数：個人 延べ1,439回、団体 延べ49回

イ さわやかボランティアーズ活動の支援

さわやか大学校の卒業生が地域毎に仲間づくりを図りながら、ボランティア活動を実践していこうという趣旨で結成された「さわやかボランティアーズ」の主体的な活動を支援した。

なお、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動を一部自粛した。

(令和3年度の主な活動)

- ・環境美化活動 (10月、熊本城行幸坂集権及び坪井川)
- ・シルバー作品展、シルバー囲碁・将棋交流大会等財団主催事業の運営補助

ウ さわやかシニアくらぶ活動の支援

サラリーマン退職者等で組織する運営委員会「さわやかシニアくらぶ」が企画、実施する、サラリーマン退職者を主なターゲットとした手作りの旅行イベントの取組を支援することとしていたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントがすべて中止になった。

(3) スポーツ・文化振興事業

高齢者の健康増進と相互親睦を深め、生きがいつくりの促進を図るため、スポーツ大会等を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの事業を中止した。

① シルバースポーツ交流大会の開催

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全種目について中止した。

② シルバー囲碁・将棋大会の開催

例年6月に全国健康福祉祭の選考会を兼ねて開催しているシルバー囲碁・将棋大会については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止した。

代わりに、囲碁大会と将棋大会の開催日を2日間に分けて、新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで交流大会として開催した。

	開催日	参加人数
将棋交流大会	令和3年11月22日(月)	34名
囲碁交流大会	令和3年11月23日(火・祝)	85名

③ シルバー作品展の開催

高齢者の文化活動を促進し、生きがいつくりの推進を図るため、シルバー作品展を開催した。

- ・期間 令和3年8月24日(火)～8月29日(日)
- ・会場 熊本県立美術館分館
- ・出展作品 235点 *6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)

④ 第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2021)への選手派遣及び作品の出品

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全国健康福祉祭ぎふ大会が中止となったことから、選手団派遣及び作品の出品を中止した。

⑤ 助成金事業

高齢者が健康長寿・生涯現役で暮らせる社会づくりを促進するために行う団体活動に対して助成を行っているが、令和3年度は申請がなかった。

2 高齢者への就労支援事業

(1) 熊本高齢者無料職業紹介所の運営

高齢者の就労希望者に対してハローワーク及び熊本県生涯現役促進地域連携協議会と連携しながら、その能力に応じた職業紹介を行うとともに、事業主に高齢者雇用(求人開拓等)を働きかけた。

- ・ 紹介責任者(熊本相談所) 1名
- 能力活用推進員(各県地域振興局) 10名

① 求人・求職・就職状況

・ 求人数	1,690名
・ 求職数	916名
・ 紹介数	552名
・ 就職数	281名

② 職種別就職状況

・ 雑役・炊事	189名
・ 事務	10名
・ 外務	0名
・ 家事手伝い	3名
・ 店員・倉庫係	4名
・ 技術・技能職	54名
・ 宿直・守衛	21名

(2) 熊本県生涯現役促進地域連携協議会事務局の運営

令和3年度から令和5年度までの3年度間、厚生労働省委託事業である生涯現役促進地域連携事業(地域協働コース)を受託した熊本県生涯現役促進地域連携協議会の事務局を当財団に置き、熊本高齢者無料職業紹介所と連携しながら高齢者への多様な就労支援に取り組んだ。